



Time:13:50時点

※前回報:11月1日報 Vol:03

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

米政府の原油価格抑制策を警戒も、需要回復の強さとOPEC+政策維持により底堅い。

■ [11月CP] プロパン: \$870 (前月比+\$70)、ブタン: \$830 (前月比+\$35) ■ [10月MB平均]: \$753 (前月比+\$80)

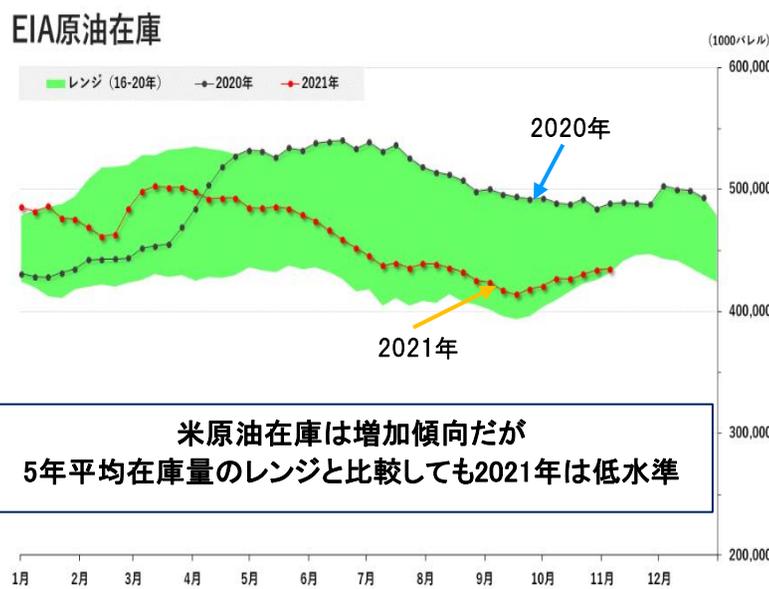
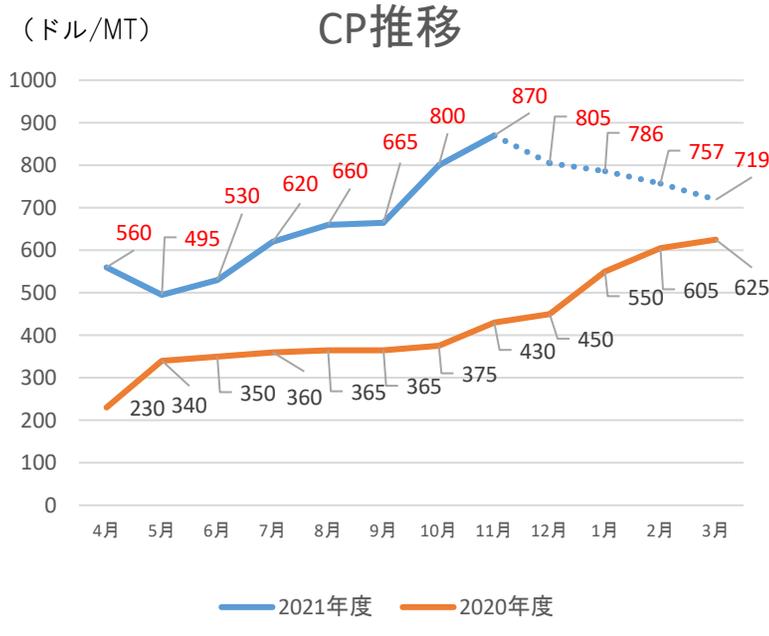
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI	80.30	83.08	▲2.78
北海Brent	82.73	83.40	▲0.67

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 12月	805	▲20	117%	▲5%
MB 11月	699	▲25		

プロパン	1月	2月	3月	4月	5月
CP先物	786	757	719	676	638
プロパン	12月	1月	2月	3月	4月
MB見通し	662	660	650	607	564

外航フレートSPOT (USD/MT)	今回	※前回	前回比	
中東-日本	62.0	52.0	+10.0	
米国-日本 (パナマ運河経由)	110.0	95.0	+15.0	
為替/TTS	11月予測	10月	9月	8月
USD/円	20日 114.89	113.02	110.91	110.88
	末日 114.90	114.11	111.17	110.85



LPG元売り12月改定幅予想値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +100~+700	▲390~+290
ENEOSグローブ	改定レンジ: ▲900~▲300	▲1,260~▲660
アストモスエネルギー	改定レンジ: ▲1,200~▲600	▲1,560~▲960
ジクシス	改定レンジ: ▲1,010~▲410	▲1,260~▲660

マーケット概況

	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	36,087.45	35,819.56	+267.89	TOPIX (円)	2,051.54	2,044.72	+6.82
S&P500 (US\$)	4,682.80	4,605.38	+77.42	金 (Gold)先物 (US\$)	1,868.25	1,784.35	+83.90
米国債券10年利回り (%)	1.601	1.563	+0.038	VIX恐怖指数 (%)	16.49	16.26	+0.23
日経平均 (円)	29,790.56	29,647.08	+143.48				

当レポートの内容は伊藤忠エネクス株ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

米政府の原油価格抑制策を警戒も、需要回復の強さとOPEC+政策維持により底堅い。

原油概況

★抑制策警戒で一時急落可能性も需給引締りで下値目途75ドル水準と底堅い見通し

影響度

強気・
上昇要因



- ① 電力供給不足により原油への代替需要拡大による原油供給不足継続。
- ② OPEC+は協調減産幅の従来方針を堅持。需給コントロール機能維持。
- ③ 米景気回復傾向と渡航制限の緩和によりエネルギー需要の増加。

弱気・
下降要因



- ① 米政府がガソリン高騰抑制に何らかの対応を発表する事への警戒。
- ② 欧州感染再拡大。ロックダウンによるエネルギー需要減少懸念。
- ③ EIAが2022年の供給過多予測を公表。来期需給緩和見通し。

LPガス概況

★プロパン12月CP800ドル台を維持。熱量換算比は11月同様割高に推移を想定。

(強気) 米プロパン未だ低在庫。LNG価格の高値推移によりLPGへの代替需要増加。

(弱気) OPEC+政策による段階的原油増産幅拡大に伴う随伴LPガスの増加。

(弱気) 中東産ブタン高在庫。インド向けSPOT需要の弱さと極東ブタン需要の低迷。

「米国戦略石油備蓄とは」

米国における国家石油備蓄。1973年に起きた第四次中東戦争を契機とする第一次オイルショックは、米国に深刻な石油不足と経済への打撃を与えた。それにより、1975年に「エネルギー政策・節約法」が制定され、国家による戦略石油備蓄（SPR）が始まった。石油供給中断等の危機が発生した場合、その程度に応じて、政府の判断でタイムリーにかつ適量の備蓄石油を放出する等、量的不足に対応するのみならず石油価格の急激な上昇を抑制する狙いがある。